

犬吠埼にはたくさんの思い出があります。子どもの頃から何度も行きました。友人と初日の出を見に行ったこともあるし、水彩画の番組に出演した時（女優の萩尾みどりさんと共演）もここでロケでした。教員時代には何度か遠足の引率でここに来ました。また、太和屋巖（いあまとやいわお）先生的水彩画「犬吠埼」は、私の水彩画の原点になっています。

その犬吠埼に久しぶりに行ってきました。利根川を挟んで銚子市と反対側にある、神栖市波崎海岸の海岸踏査の帰りに寄ってきたのです。犬吠埼灯台は日本ではわずか5基しかない「第一等灯台」の一つです。世界灯台 100 選、日本灯台 50 選、そして国の重要文化財にも指定されています。初点は 1874 年（明治 7 年）で、その後実に 140 年以上、一度も建て替えられずに岬に立ち続けています。

その灯台の敷地の中に、ラッパ型の不思議な造形物がひっそりと建っています。これはかつて活躍していた「霧

笛」のラッパです。霧笛とは、字のごとく濃霧などの悪天候の日に灯台の灯火が届きにくい場合に稼働する、音響による「航路標識（音波標識）」の一種です。正式には「霧信号所」といいます。しかし、船舶に GPS が装備され、ロランなどの無線航路標識が発達したことで役目を終え、海上保安庁が管理する正式な霧信号所は、2010 年（平成 22 年）にすべて廃止されました。犬吠埼霧信号所も 2008 年（平成 20 年）3 月 31 日を最後に、音を出していません。

私は子どもの時犬吠埼の近くの旅館に泊った時、ふとんの中で低く太い「ボォォォ・・・」という霧笛の音を聞き、怖くて眠れなかった記憶があります。あの音をもう一度聞いてみたいと思いました。

